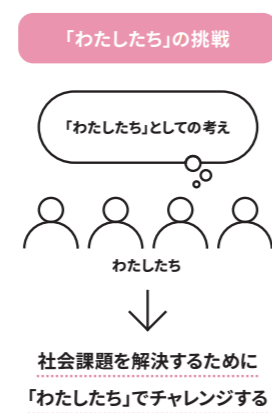


施設理念

「わたし」の挑戦を、
「わたしたち」の挑戦へ。

Self-as-We

QUINTBRIDGEが大切にしている、考え方です。



QUINTBRIDGEのユニーク性が評価され グッドデザイン賞を受賞しました

審査員の評価コメント

これまで多くのイノベーション施設が開設されているが、ここまで企業が自社利益に固執せず、社会課題解決を志す多くの人々に場を開放した拠点は極めて少ないのではないだろうか。利用ルールや多彩なプログラムによって、参加者が集まりやすい環境を整え、経済循環を超えて社会関係資本の蓄積を目指している点にも注目が集まった。この取り組みは、多くのイノベーション施設におけるエコシステム醸成のヒントや雛形になるだろう。イノベーション施設として多くの参加者を引き込み、多くの共創プロジェクトを実施している活動自体も評価の対象だが、その利用者が周辺の街を回遊することにより、地域社会全体の活性化にも寄与している点は、この施設ならではのユニークな特徴として高く評価した。

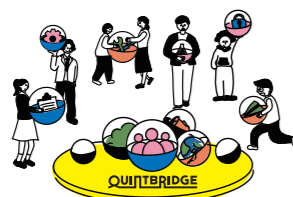


GOOD
DESIGN

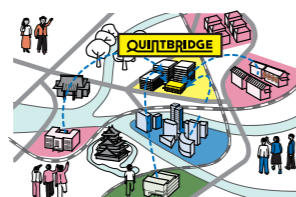
QUINTBRIDGEの3つのユニーク性



オープンかつ中立的
自社を中心と置かない場をデザイン



情報や人脈こそが重要
『価値の転換』を行い会費を無料とした

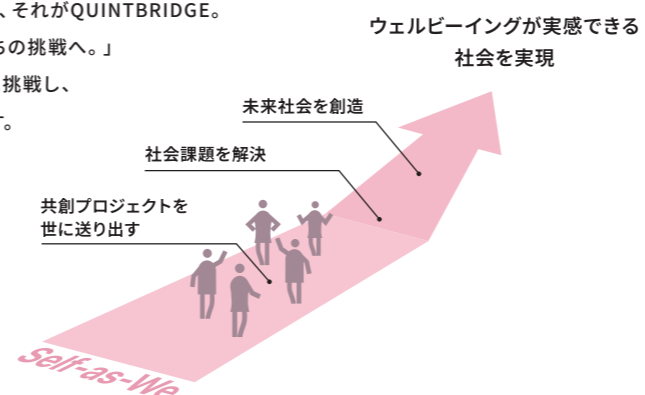


イノベティブな街づくり
自社敷地をひらき、まちの機能をつなぐ

社会を変えたい
思いと思いが、出会う場所。

QUINTBRIDGE

世の中をもっと良くしたい、と考える企業・スタートアップ・学生・自治体などが、立場にとらわれず交流するオープンイノベーション施設、それがQUINTBRIDGE。施設理念は、「Self-as-We わたしの挑戦を、わたしたちの挑戦へ。」志を持つ会員同士が社会課題解決と未来社会の創造に挑戦し、ウェルビーイングが実感できる社会の実現をめざします。

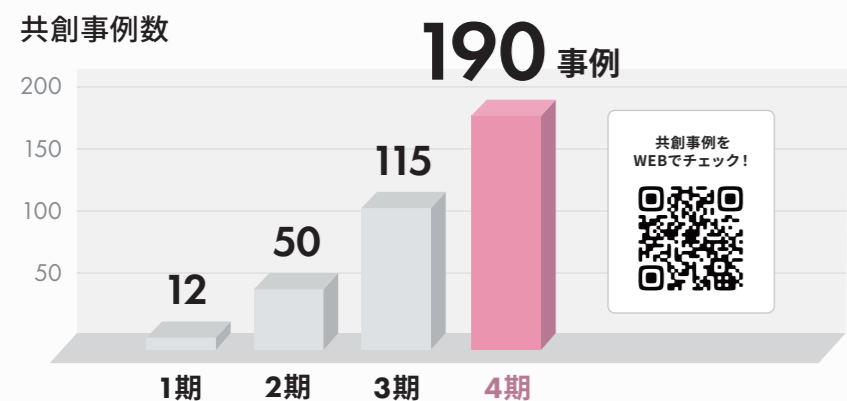
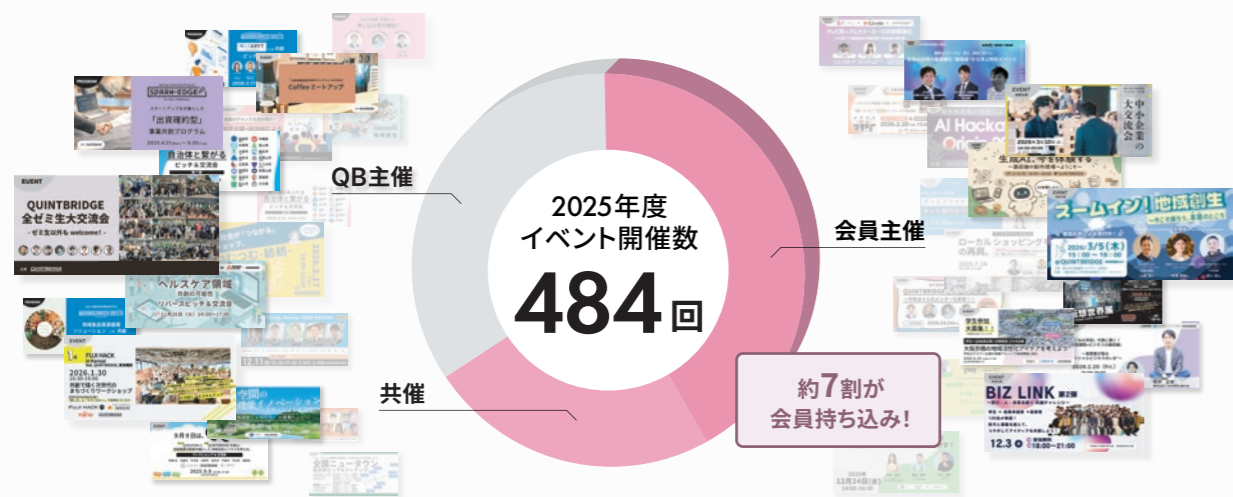


〒534-0024
大阪府大阪市都島区東野田町4-15-82
平日 9:00-21:00 / 土曜日 13:00-18:00 / 日曜日・祝日 休業

QUINTBRIDGE Report 2025-2026



多くの社会課題と多様なアセットが集まり、次々と共創が生まれ続ける。



※ 2026年3月末時点

利用者数 **306**人/日(平均)

個人会員数 **31,400**人

法人会員数 **2,335**組織

「官」「民」「学」「域」が織りなすイノベーション

ローカル・イノベーションディストリクト構想が始動 (大阪「ヒガシエリア」の活性化)

行政・企業・大学・地域住民が日常的に連携し、オープンな共創と実証を持続的に実践するまちづくりをめざす。大阪のヒガシエリア(京橋・森ノ宮地区)の活性化に向けて、地域住民が課題を持ち寄り、QBの多様な会員と共に解決に挑戦する共創イベントを数多く開催。大阪公立大学との連携協定等を通じて、地域の学生や教育機関も参画し、地域に開かれたオープンイノベーション施設として取組を力強く推進していく。



地域の課題解決の取組 (沖縄県:ヘルスケア)

沖縄県が抱えるヘルスケア課題の解決に挑戦するイベントを開催。多様なQB会員がアイデアを出し合い、子どものむし歯対策のための「歯の健康習慣化」の実証実験を実施した。仕上げ磨きの習慣化や検診受診率2.5倍といった成果が生まれ、その後、沖縄県の各市町村展開に向けた取組が進んでいる。

共創が生まれる仕掛け

リアルな社会課題が「リアルな価値を生む」

解像度の高い社会課題が次々と持ち込まれる自治体ピッチ

毎日のように多種多様なイベントが開催される中でも、自治体が積極的に地域課題やフィールドを持ち寄っていることがQBの特徴のひとつ。人気企画「熱い溢れる自治体ピッチ&交流会」では、エリアも規模も様々な10を超える自治体が一室に会し、各地域が直面しているリアルな課題を熱意溢れる自治体職員がピッチ。そこに共感する大企業・スタートアップ企業等が出会い、プロダクトや技術を持ち寄ることで共創のタネが生まれ続けている。開設以来、出張開催も含め累計10回開催し、延べ約100自治体から課題が持ち寄られた。



開催数 累計**10**回
登壇自治体数 延べ**100**自治体
参加者数 **100**名以上/回

コミュニケーター相談窓口



多様な出会いが「未来を創る」

初めの方も大歓迎 COFFEE MEETUP

ドリップコーヒーを味わいながら、QBの多様な会員同士がカジュアルに交流できるミートアップ。事前申込不要・途中参加/途中退出も自由で、トークテーマから自然に会話とつながりが生まれます。「思いがけない人との出会いからビジネスの話に発展した」という声も。



業界の枠を超える 新規事業開発担当者 大交流会



新規事業の共創には前例がなく悩むことも少なくない。「新規事業開発担当者 大交流会」は業種・業界の枠を超えて、オープンイノベーションの実践者が集い、経験や知恵を本音で語り合う場。新規事業を切り拓くための生きたヒントや人脈がここにある。



学びと検証で「アイデアが形になる」

ビジネスの可能性を広げるゼミ活動

第一線で活躍するメンターの指導のもと、同じ志を持つ仲間同士で切磋琢磨するゼミ活動。新規アイデア創出、ソーシャルグッド、課題解決の実践体験など幅広いテーマで展開中。



課題解決の実践ゼミ (牛乳石鹸共進社 × ゼミ生)

QB法人会員がリアルな課題とフィールドを提供し、ゼミ生がチームで企画〜実証まで挑む実践型のゼミ。ゼミ生のアイデアから3つの共創(実証実験)が生まれている。

価値あるものへ育てていく 実証実験

市場調査、プロトタイプ、ローンチ等の各フェーズで、実証実験の機会を提供。QBの多様な会員からのフィードバックを活かしてプロダクトを磨く。



AIコミュニケーター あゆみちゃん

対話型AIは「交流を生み出す起点」となるか検証。会員への効果的なコミュニケーション紹介や、AIだから話せるクッション効果などの発見も。



覚悟が「イノベーションを生む」

Startup Investment Program SPARK-EDGE For Next Challengers

NTTファイナンスと連携し、採択時点で最大1000万円※の出資を確約するNTT西日本グループとの事業共創プログラム。シード期のスタートアップとともにGX・エンタメ領域等で”新たな事業”を0から生み出すことに挑戦。 ※ 2026年度から最大1000万円に拡大

2社へ出資決定! (2025年度)

「推し活IDビジネス」と「声の可能性を広げるビジネス」で共に新規事業に挑戦するスタートアップ2社に出資。早期事業化をめざしPoCを実行。

BUSINESS MATCH-UP! For Next Value

スタートアップ企業が持つ革新的なプロダクト・サービスとNTT西日本グループのアセット(商材・顧客基盤・技術等)を掛け合わせて短期で共創を生み出すプログラム。QB開設以来累計7回開催し、16企業を採択。

ライブコマース「foove+」での共創

NTTスマートコネクのライブコマースの配信プラットフォームにおける課題を起点に株式会社OneAIの技術との掛け合わせで2件の共創が誕生。



QB会員の共創活動を支援

会員の皆さまに寄り添い、幅広くサポート コミュニケーター

事業の壁打ち

会員の課題感に合わせて、様々な経験、得意領域を持ったコミュニケーターが相談をお受けし、次の一歩やQBの活用方法をともに見つけます。

マッチング

会員の思いや課題を起点に、企業・自治体・スタートアップをお繋ぎし、共創の一步を支援します。

イベントの企画

共創のきっかけを生み出すため、会員がQBで開催するイベントの企画・運営に関するアドバイスをしています。

QBで実現したいことをぜひ教えてください!



高い専門性を有するサポーター企業が、定期的に相談窓口を提供 QBエキスパートサポーター

資金調達

VC・金融機関等による資金調達(出資・融資)の相談

法務・知財など

法律事務所等による法務、知財等の法律面の相談

その他

事業壁打ち、技術、人事労務に関する相談など

